



2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月12日

上場会社名 株式会社 関門海
コード番号 3372 URL <https://www.kanmonkai.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 久美子

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 関口 弘一

TEL 072-349-9329

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	954	3.7	82		87		56	
2025年3月期第1四半期	920	8.8	68		78		49	

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 59百万円 (%) 2025年3月期第1四半期 48百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	4.16	
2025年3月期第1四半期	3.61	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,789	1,230	44.1
2025年3月期	3,316	1,289	38.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 1,230百万円 2025年3月期 1,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		0.00	0.00
2026年3月期					
2026年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,840	2.2	241		255		170		12.41
通期	5,360	1.8	265	19.1	230	23.3	180	52.4	13.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	14,000,900 株	2025年3月期	14,000,900 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2026年3月期1Q	302,147 株	2025年3月期	302,147 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	13,698,753 株	2025年3月期1Q	13,698,753 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(四半期連結損益計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間は、雇用・所得環境の改善が行なわれている一方、物価高騰や米国の通商政策等による不透明感もあり、消費者マインドは節約志向の高まりにより個人消費は落ち着きを見せております。

当社グループにおいては、4月に国産うなぎをほぼ全店で販売開始、毎年夏場に人気を博すコース料理「夏安居」の投入、「母の日」「父の日」のフェアを行うなど販売を強化したほか、6月には京都で2店舗目となる京都四条店を新たにオープンしました。また、本部においては、強化を図っていた外部流通卸への加工食材等の販売が順調に推移しており、今後を見据え本社工場の人員の確保など体制強化を進めております。

当社グループの主力事業である「玄品」等の直営店舗では、インバウンド旅行客の来店は落ち着きを見せたものの、コースを含むうなぎ料理や「夏安居」コースが好評だったこと等により、前第1四半期連結累計期間と比較して、直営店舗の既存店売上高は、前年同四半期比0.8%減に収まりました。当第1四半期連結会計期間末の直営店舗数は、新規開店1店舗、閉店1店舗により前期末から変わらず41店舗、直営店舗の売上高は754百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。

フランチャイズ事業におきましては、とらふぐ等の食材販売等の売上高は前年同四半期を上回りましたが、既存店舗末端売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。当第1四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は、中国の寧波店を閉店したため1店舗減少し23店舗となり、とらふぐ等の食材販売、ロイヤリティ等によるフランチャイズ売上高は62百万円（前年同四半期比2.1%増）、国内既存店末端売上高は、172百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

その他の業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、6月に契約満了により店舗を閉店したため0店舗となりました。本部に係る売上高も含めた当第1四半期連結累計期間の売上高は、本部の食材の外部販売に係る売上が増加したこと等により138百万円（前年同四半期比57.3%増）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は954百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。利益面においては、売上高増加に伴い売上総利益は664百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。販売費及び一般管理費については、コスト管理の徹底は継続して行いながら、従業員待遇改善による昇給や賞与などの人件費関連や広告宣伝費等が見込み通りに増加したこと等により747百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。これらにより、当第1四半期連結累計期間の営業損失は82百万円（前年同四半期は68百万円の損失）、経常損失は87百万円（前年同四半期は78百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は56百万円（前年同四半期は49百万円の損失）となりました。

また、当社グループは、主力事業である「玄品」の季節変動が大きいことにより、四半期毎の業績に大幅な変動があります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して527百万円減少し、2,789百万円となりました。これは、商品及び製品の増加62百万円、有形固定資産の取得等による増加47百万円、投資その他の資産の「その他」に含まれる四半期特有の会計処理に係る繰延税金資産の増加34百万円等の増加要因はあったものの、現金及び預金の減少602百万円、売掛金の減少64百万円等の減少要因によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して468百万円減少し、1,558百万円となりました。これは株主優待引当金の増加6百万円、流動負債の「その他」に含まれる預り金の増加4百万円等の増加要因はあったものの、短期借入金の純減額300百万円、賞与引当金の減少66百万円、買掛金の減少29百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等の減少25百万円等の減少要因によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して59百万円減少し、1,230百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少56百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,403,968	801,003
売掛金	261,397	196,642
商品及び製品	554,855	617,479
原材料及び貯蔵品	19,326	19,700
その他	70,724	73,789
貸倒引当金	△251	△236
流動資産合計	2,310,021	1,708,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	446,863	479,696
その他(純額)	73,526	87,940
有形固定資産合計	520,390	567,636
無形固定資産		
その他	13,269	12,661
無形固定資産合計	13,269	12,661
投資その他の資産		
差入保証金	261,586	255,496
その他	211,714	245,088
投資その他の資産合計	473,301	500,585
固定資産合計	1,006,960	1,080,883
資産合計	3,316,982	2,789,262
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,339	123,805
短期借入金	900,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	139,980	139,980
未払金	221,826	217,257
未払法人税等	1,974	477
賞与引当金	96,720	30,365
株主優待引当金	8,451	15,000
その他	87,588	50,524
流動負債合計	1,609,880	1,177,410
固定負債		
長期借入金	390,030	355,035
その他	27,249	26,449
固定負債合計	417,279	381,484
負債合計	2,027,160	1,558,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	656,201	656,201
利益剰余金	909,543	852,613
自己株式	△288,020	△288,020
株主資本合計	1,287,723	1,230,794
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,098	△426
その他の包括利益累計額合計	2,098	△426
純資産合計	1,289,822	1,230,367
負債純資産合計	3,316,982	2,789,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	※ 920,640	※ 954,920
売上原価	282,558	290,167
売上総利益	638,082	664,753
販売費及び一般管理費	707,061	747,352
営業損失(△)	△68,978	△82,598
営業外収益		
受取利息	37	8
補助金収入	-	2,261
差入保証金回収益	-	840
その他	823	1,339
営業外収益合計	861	4,449
営業外費用		
支払利息	7,787	5,336
支払手数料	1,379	1,353
その他	739	2,307
営業外費用合計	9,905	8,996
経常損失(△)	△78,023	△87,145
特別利益		
固定資産売却益	-	372
特別利益合計	-	372
特別損失		
固定資産売却損	-	4,137
特別損失合計	-	4,137
税金等調整前四半期純損失(△)	△78,023	△90,911
法人税等	△28,502	△33,981
四半期純損失(△)	△49,520	△56,929
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△49,520	△56,929

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△49,520	△56,929
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,198	△2,525
その他の包括利益合計	1,198	△2,525
四半期包括利益	△48,322	△59,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,322	△59,455
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	19,540千円	22,066千円

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 当社グループの売上高は、通常の営業形態として、冬場におけるとらふぐ料理の需要が大きいため、第3、第4四半期連結会計期間の売上高と他の四半期連結会計期間の売上高との間に著しい相違があり、業績の季節的変動があります。